

八雲町熊石地域

指定基準	講評
<p>イ．当該地域マリンビジョンが、地域のポテンシャルを活かすとともに個性ある計画となっていること。</p>	<p>熊石地域は「漁業の安定で浜と地域の活性化」をキャッチフレーズとして、つくり育てる漁業への転換、流通販売戦略による安定した収益構造への転換等が盛り込まれている。日本海特有の水産資源が厳しい現状において水産資源を増やす取り組みや限られた資源に付加価値を付ける内容となっており、地域として価値あるビジョンとなっている。</p> <p>さらにより良いビジョンとしていくためには、今後フォローアップの検討を通じて、特徴的な地域性を明確にして、重点プロジェクトにおける現状認識を再確認したり、具体的な目標を設定したりすることが効果的と考えられる。</p>
<p>ロ．当該地域マリンビジョンが、独創性、先駆性、広域性のいずれかが認められるとともに、他地域モデルとして見込め、北海道マリンビジョン21の具現化に資する計画となっていること。</p>	<p>ビジョンは日本海沿岸や道南地域の漁業が直面している諸課題に対応する内容となっており、そのビジョンは地域にとって有益なものとなっているものの、現段階において他地域を先導するような顕著なモデル性は見受けられない。</p>
<p>ハ．当該地域マリンビジョンが、地域協議会の十分な議論・調整を踏まえた計画であること。また、地域マリンビジョン策定後であっても、適宜地域協議会において当該地域マリンビジョンの円滑な推進を図る計画となっていること。</p>	<p>多様な協議会参加者による十分な議論がなされた計画であると評価できる。</p>
<p>ニ．当該地域マリンビジョンに位置付けられている拠点漁港が、北海道マリンビジョン21の趣旨に鑑み、計画において拠点漁港のいずれかに該当すること。</p>	<p>拠点漁港の熊石漁港はモデル性が確保されている。全道に先駆けて衛生管理型の漁港整備が完成しており、増養殖を支援する畜養施設も完成している。さらに、海洋深層水事業も完成しているなど、ビジョンを実現するための漁港周辺の基盤はほぼ完成しているという他地域に無い強みがある。これら基盤を戦略的に活用し、ビジョンの実現に向けての取り組みを加速させていくことを期待したい。</p>
<p>ホ．地域マリンビジョンの実現に向けた取り組み内容が各実行主体ごとに明確になっているほか、それらの取り組みが地域において継続的に行われる等、地域マリンビジョン及び取組主体の熟度が認められること。</p>	<p>ビジョンの取り組みの一部は既に実行されているものの、幾つかの重点プロジェクトについては実効性に課題があると考えられる。</p> <p>特に、マリンビジョン協議会の中において漁協は主要な実行主体となるが、当地域の場合、地域単位と比べて漁協エリアが広く、重点プロジェクトにもある消費流通問題を取り組む際には漁協の方針によってプロジェクトの実効性が大きく左右されることになる。漁協との連携協働体制を強化してプロジェクトの実効性を高めることを期待したい。</p>